



第779回抄録委員会（2月13日）

本誌4月号・5月号に掲載する外国文献の抄録内容について審議を行った。



配管設計講習会（関東会場第2回：2月14日～16日）

本研修会は「配水管の設計に関する基礎知識」から「ダクタイル鋳鉄管を基本とした製図・積算」までの実務能力を習得することを目的としている。

今回、水道事業者及び民間企業等において配管設計の経験が少ない水道技術者の方々51名の参加を得て、「水道の課題と設計業務」、「配管設計・積算の基礎知識」、「製図の基本」、「管路（GX形）の製図演習」、「積算の基本」、「管路（GX形）の積算演習」について研修を実施した。

第192回水道 GLP 認定委員会（2月20日）

水道 GLP 認定について審議した結果、大分市上下水道局（JWWA-GLP153）の新規認定を決定した。

また、奈良県広域水道センター（JWWA-GLP029）、吹田市水道部（JWWA-GLP030）及び株式会社エステム（JWWA-GLP143）の認定更新、並びに一般財団法人新潟県環境衛生研究所（JWWA-GLP135）の認定維持を決定した。

第148回事務常設調査委員会（2月26日）

はじめに、審議事項①として「副委員長の互選について」を上程し、副委員長には、東京都水道局総務部長の長嶺委員を選任した。

次に、審議事項②として「事務常設調査委員会の充実に向けて」を審議し、出席委員から活発な意見交換が行われ、次回（3月27日）の本委員会において、今後の委員会の進め方等について方向性が示されることになった。

続いて、審議事項③として「人材確保・育成等に関する検討について」を審議し、委員からの意見をもとに、「1. 事業体における人材確保に関する効果的な対応について」、「2. 事業体における人材育成に関する効果的な対応について」、「3. 労務委員会の名称変更について」、「4. DXの活用について」、「5. 業務委託の活用について」の5項目を労務調査専門委員会に、「1. 人材確保に向けた水道界の魅力向上に繋がる広報手法について」を広報専門委員会に、それぞれ付託することが了承された。

その他に、報告事項①「令和6年能登半島地震における日本水道協会の対応」、報告事項②「水道行政の移管に向けた検討委員会の活動状況」、報告事項③「情報発信スキルアップセミナーの開催」、報告事項④「令和3年度水道統計」について、それぞれ事務局から報告を行った。



第1023回会誌編集委員会（2月26日）

東京都水道局朝霞浄水場で開催し、本誌3・4月号の編集方針、投稿原稿の査読等について審議を行った。また、浄水場の施設見学を行った。



第197回水道統計編纂専門委員会（2月27日）

はじめに、報告事項1「令和4年度水道統計について」を上程し、令和4年度水道統計に記載する凡例等について、事務局より説明を行い了承された。

次に、議題1「令和5年度水道統計調査について」を上程し、令和5年度水道統計における調査項目について、事務局より説明を行い了承された。



第190回水質試験方法等調査専門委員会（2月29日）

はじめに、関塚厚生労働省水道課水道水質管理室基準係長から、水道水質管理の最近の動向に関する情報提供があった。

議事に入り、五十嵐委員長進行のもと、前回委員会の議事録、震災等の非常時における水質試験方法の改訂作業の進捗状況、上水試験方法2020年度版補遺に関して報告した。

その後、無機物、有機物、微生物・生物の各部会に分かれ、それぞれの検討課題に関して討議した。

第51回認証審査委員会（2月29日）

はじめに、審議事項1「特別基準の試験方法の改正（JWWAK 139）」が上程され、審議の結果、了承された。

次に、報告事項1「認証登録の一時停止」、報告事項2「2023年度試買検査の結果」及び報告事項3「認証取得に係わる不適切行為に関する本協会の対応」を報告し、閉会した。



第31回 ISO/TC224上水道国内対策委員会（3月4日）

TC224専門委員会の活動状況について、傘下の各ワーキンググループの活動報告がなされた。



第109回経営調査専門委員会（3月5日）

はじめに、審議事項①として「委員長の互選について」を上程し、委員長には、東京都水道局総務部主計課長の秋元委員を選任した。

次に、審議事項②として「経営調査専門委員会の充実について」を審議し、出席委員から活発な意見交換が行われた。今後の委員会の進め方等については、3月27日の事務常設調査委員会において、方向性が示されることになった。



また、事務常設調査委員会に対して、料金制度（算定要領）の精査等を調査審議事項とし、本委員会への付託事項とすることを提案することとなった。

その他に、報告事項①「令和6年能登半島地震における日本水道協会の対応」、報告事項②「水道行政の移管に向けた検討委員会の活動状況」、報告事項③「情報発信スキルアップセミナーの開催」について、それぞれ事務局から報告を行った。

第30回営業業務専門委員会（3月7日）

はじめに、審議事項①として「委員長・副委員長の互選について」を上程し、委員長には、これまで副委員長であった札幌市水道局総務部営業課長の大場委員を、このことにより空席となった副委員長には、福岡市水道局総務部営業企画課長の小山委員をそれぞれ選任した。



次に、審議事項②として「営業業務専門委員会の充実について」を上程した。今後の委員会の進め方等については、次回の事務常設調査委員会において、本委員会での意見を報告し、審議されることになった。併せて、委員から提案のあった検討内容について、次回の本委員会において情報交換をすることとした。

次に、情報交換事項として、「①メーター盗難における損害賠償請求の有無について」、「②口座振替促進のための施策について」、「③延滞金の徴収状況について」、「④クレジットカードの導入状況について」、「⑤水道アプリの導入について」、それぞれ意見・情報交換が行われた。

最後に、事務局より、①令和6年能登半島地震における日本水道協会の対応について、②水道行政の移管に向けた検討委員会の検討状況について、③情報発信スキルアップセミナーの開催について、それぞれ報告した。

第49回認証制度運営委員会（3月12日）

はじめに、審議事項1「認証に係る費用規則の改正」が上程され、審議の結果、了承された。



次に、報告事項1「苦情及び異議申立て処理要綱等の改正」、報告事項2「品質認証センターの認証登録件数及び収入」、報告事項3「品質認証業務マネジメントレビュー」、報告事項4「認証登録の一時停止」、報告事項5「認証審査委員会の審議結果」、報告事項6「2023年度試買検査について」及び報告事項7「認証取得に係わる不適切行為に関する本協会の対応」を報告し、閉会した。